

科目名		労働衛生工学演習	
科目責任者		東 秀 憲 (労働衛生工学 教授)	
開講時期:	2～3年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>環境中の有害物質について同定と曝露濃度や気中濃度を評価する手法を学ぶ。また作業環境改善対策について系統的に理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 環境中の化学物質の性状についてSDSを元に説明できる。</li> <li>2) 化学物質の吸入による有害性について説明できる。</li> <li>3) 環境中の化学物質の濃度の測定のデザインサンプリングについて説明できる。</li> <li>4) 粒子状物質の特性について説明できる。</li> <li>5) 粒子状物質の測定法について説明できる。</li> <li>6) ガス状物質の特性について説明できる。</li> <li>7) ガス状物質の測定法について説明できる。</li> <li>8) 局所排気装置の特性と使用法について説明できる。</li> <li>9) 呼吸用保護具の取り扱いについて説明できる。</li> </ol>			
● 評価方法	検討会での討論20%・発表40%・レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	演習の中で必要に応じ紹介する。		